

(別紙5)

補助事業番号 28-1-077
補助事業名 平成28年度 検診車の整備 補助事業
補助事業者名 一般社団法人 唐津東松浦医師会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

胸部X線デジタル検診車の導入によって、最新の撮影技術により検診を行うことが出来るようになります。従来よりも短時間で高画質な画像を撮影することにより、スムーズな検診を行い、肺がんや結核等の早期発見・早期治療に結びつけることを目的としています。

(2) 実施内容

胸部X線デジタル検診車

(URL) http://www.karatsu.saga.med.or.jp/doc/20170210_kyoubu.pdf



2 予想される事業実施効果

佐賀県の主に唐津市・東松浦郡を中心とした地域で、住民検診や事業所検診の実施の際、積極的に使用します。検診の精度管理の向上により疾病の早期発見を実現するとともに、検診受診者にはこれまで以上の精度の高い検診を、より快適に受けていただくことにより、受診率の向上も期待しています。

3 印刷物等

本事業に係る印刷物等

機関誌「医師会だより」へ掲載

(URL) http://www.karatsu.saga.med.or.jp/doc/20170201_ishikai dayori.pdf



一般社団法人 唐津東松浦医師会
唐津市千代田町2566の11

医師会だより 平成29年2月1日(4)

検診部からのお知らせ

検診部担当理事 中野田 和宏

新 胸部X線デジタル検診車を導入しました。

この度、公益財団法人JKA及び唐津市・玄海町の補助をいただき、胸部X線デジタル検診車を整備致しました。

従来のフィルムでの撮影方式から最新のデジタル撮影方式に代わり、撮影した画像をリアルタイムで確認できるようになり、今後、精度の大幅な向上と検診の効率化が期待されます。本車両の導入により、より多くの唐津東松浦地区の住民、また、産業労働者の肺疾患の早期発見につなげ、健康管理に寄与できるものと確信しています。



新 マンモグラフィ装置を導入しました。

平成8年3月に導入したマンモグラフィ装置が老朽化した為、平成28年12月に最新型のデジタルマンモグラフィ装置を導入しました。

撮影装置は従来のものより低放射線、高画質を実現した高機能な装置となっております。また、併せて導入したマンモグラフィ撮影システムは、マンモグラフィ専用の高画質モニターを採用し、画像に応じた表示が可能となり、病変をより発見しやすくなります。主に施設内検診の乳がん検診等に使用しておりますが、会員の先生方のご紹介によるマンモグラフィ(ドクターレポート付き)を是非ともご利用いただきますようお願いいたします。



(URL) http://www.karatsu.saga.med.or.jp/doc/20170301_ishikai dayori.pdf



一般社団法人 唐津東松浦医師会
唐津市千代田町2566の11

(3) 平成29年3月1日 医師会だより

検診部からのお知らせ

検診部担当理事 中野田 和宏

胸部X線デジタル検診車の「命名式」を執り行いました。

平成29年2月1日 大安吉日 胸部X線デジタル検診車の「命名式」を唐津神社にて行いました。

拝殿にて安全運行と地域住民の方の健康祈願を行い、白い大鳥居にて検診車のお蔵入りをたまり、命名を「かもめ2号」といたしました。

2月より、安全運行を第一に稼働を開始いたします。



公益財団法人 JKA の補助事業

事業名	平成28年度検診車の整備補助事業
補助金額	21,500,000円
実施場所	佐賀県唐津市千代田町2566番地11
完了年月日	平成29年1月17日

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人 唐津東松浦医師会 (カラツヒガシマツウライシカイ)

住 所： 〒847-0041

佐賀県唐津市千代田町2566番地11

代 表 者： 会長 森永 幸二 (モリナガ コウジ)

担 当 部 署： 唐津東松浦医師会医療センター 検診部

(カラツヒガシマツウライシカイイリョウセンター ケンシンブ)

担 当 者 名： 副部長 小野原 雅治 (オノハラ マサハル)

電 話 番 号： 0955-75-5172

F A X： 0955-70-1511

E - m a i l： <mailto:kenshin@karatsu.saga.med.or.jp>

U R L： <http://www.karatsu.saga.med.or.jp/index.html>